

事務事業名	公共土木施設単独災害復旧事業		所属部	建設部	所属課	建設工務課
総合計画体系	政策名	〈Ⅱ〉安全・安心で快適なまち〈定住環境〉		所属G	公共災害復興チーム	課長名 松村 直樹
	施策名	〈12〉道路の整備		担当者名	板持大悟	
	目的・対象	市民	意図	市内及び市外へ安全で便利に移動できる。		
	基本事業	〈035〉道路の維持管理		電話番号	0854-40-1062 (内線) 2473	
目的・対象	道路利用者	意図	安全に移動できる。			会計 款 大事業 大事業 公共土木施設単独災害復旧事業
			予算科目	0:1:5:5:0:2	中事業 中事業 現年公共土木施設単独災害復旧事業	1:0:1:0:0:1

1 現状把握【DO】

(1) 事務事業の概要

① 対象(誰、何を対象にしているのか)	② 意図(対象がどのような状態になるのか)
災害発生箇所	道路、河川の機能を復旧することによって、安全に利用することができる。
③ 事業内容(期間限定複数年度事業は全体像を記述)	
事業期間 <input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返 (年度 ~) <input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (R2 年度 ~ R5 年度)	市管理河川・道路の被災箇所の復旧工事を実施する(R3年発生分) 【災害復旧基準】 ・日雨量80mm以上、時間雨量20mm以上。 ・河川の場合は雨量の他に断面積の2分の1以上の流量が必要である。
④ 主な活動 R3年度実績(R3年度に行った主な活動)	⑤ これまでの改革・改善経緯 (この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)
・道路単独災害 380箇所 ・河川単独災害 58箇所 ・配水管移転補償 1箇所	・道路の安全確保や円滑な通行確保のため、道路の日常の点検が必要であり、職員による道路パトロールを実施している。

(2) 事務事業の指標

成果指標	単位	R元年度(実績)	R2年度(実績)	R3年度(実績)	R4年度(計画)
ア 発注率	%		100.0	100.0	100.0
イ 完了率	%		100.0	100.0	100.0
ウ					
エ					

(3) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (R3年度決算)		② コストの推移		単位	R元年度(決算)	R2年度(決算)	R3年度(決算)	R4年度(計画)
【工事費】	221,405千円	財源内訳	国庫支出金	千円				
【補償費】	588千円		県支出金	千円				
【負担金】	2,344千円		地方債	千円		1,400	223,700	100,000
【合計】	224,337千円		その他	千円				
【地方債】災害復旧事業債			一般財源	千円		95	637	
		事業費計		千円	0	1,495	224,337	100,000

2 事後評価【SEE】

① 事業実績における成果	・道路・河川の施設管理者として早急な復旧対応を図ることにより、道路・河川の安全性が確保された。
② 事業実施するうえでの課題	・災害の要因となる道路及び河川の損傷を事前に把握し、修繕対応することで災害を未然に防ぐことができるため、日常的な維持管理の体制づくりが必要である。
③ 課題解決に向けた改革改善等	・年間を通じた道路・河川パトロールにより、災害に繋がる要因を早期発見・排除し、災害前の維持管理体制の確立を図っている。